

平成22年度事業計画

< 22年度の新規事業及び特色のある事業 >

1 新規事業

- (1) 介護予防のための新しいプログラム（よかうた体操等）の作成・普及（自主事業）
これまでに開発した介護予防プログラムの運動強度に耐えられないレベルの低体力高齢者を対象に、簡単で覚えやすい低い強度の介護予防プログラムを新たに作成する。道具を使わず、童謡（大きな栗の木の下で 等）の替え歌を自分で口ずさむなどして自宅でも簡単に実施できるよう工夫し、高齢者施設などで展開する。高齢者施設でのモデル的实施を予定している。
- (2) 乳児と親のための健康教室の開設（自主事業）
生後6ヶ月～12ヶ月の乳児とふれあいながら親が自宅で実施できる健康づくり運動を紹介する教室。ストレッチ・赤ちゃんといっしょにおこなう筋トレなどが中心。22年度は「働くママとパパのマタニティ教室受講者」のみを対象として広報し、親子10組を定員として3回程度開設する予定。
- (3) ウォーキンググループへの情報提供（自主事業）
各区の地域保健福祉課・健康課が「歩きたくなるまちづくり」関連事業で支援等を行っているウォーキンググループへ、団体・企業等のウォーキングに関する情報を提供することにより、ウォーキンググループ活動を支援していく。

2 特色のある事業

- (1) 小児生活習慣病予防教室（あいれふ親子教室）の拡大（自主事業）
21年度に「小児生活習慣病予防教室（あいれふ子ども教室）」を実施した結果、10名の参加者があり、平均8%の肥満度減少を認めた。22年度は半年間にわたり教室前後の健診を含めて全9回を1講座とし、年2講座実施予定（5月および10月に開始）。小学4～6年生を対象に、学校、臨床現場から広く参加者をつのる。1講座の定員は15名。福岡市医師会小児期生活習慣病対策委員会・福岡地区小児科医会と引き続き連携しておこなっていく。
- (2) ウォーキング実践教室の参加対象者の拡大（自主事業）
大濠公園を出発点とし、毎回違ったコースを5～8キロ歩くウォーキング実践教室（毎月第一土曜日開催）の参加者は30人前後で推移しているが、現在、「健康運動教室」などの財団事業を利用したことがあることを参加条件にしている。この条件を緩和し、より多くの市民が参加できる形で展開していく。また、日本高血圧協会などの外部とのタイアップを検討していく。
- (3) 骨粗しょう症予防教室のモデル事業の実施（受託事業）
20、21年度に実施した「骨粗しょう症予防教室」では、継続的な踏み台運動により骨代謝の改善が認められた。同様の踏み台運動を保健福祉センターでモデル的に実施し、効果を検証する。22年度はモデル区で実施予定。現在保健福祉センターで実施されている「転倒予防教室」と区別するために対象年齢を64歳以下とする。（転倒予防教室は65歳以上が対象）

(4) 幼児 (3 歳児) 生活習慣調査のダイジェスト版の作成 (受託事業)

生活リズムの乱れや朝食欠食などの実態など、幼児の生活習慣を明らかにするために 21 年度に、幼児生活習慣調査を実施した。平成 16 年度の調査との比較を含めた検討を行い、報告書を 21 年度に作成した。22 年度は、この報告書をもとにダイジェスト版 (リーフレット) を作成する。

受託事業（指定管理者としての業務）

1．調査・研究事業

（1）健康づくりに関する調査及び研究

健康度診断・健康教室等のデータを大学等の関係機関と協力して解析するとともに、健康づくりの方法、支援方法について研究する。

ア．骨粗鬆症予防プログラム開発のためのモデル事業

イ．幼児（3歳児）の生活習慣調査（ダイジェスト版の作成）

ウ．福岡市健康づくり研究委員会 1回

（2）健康度診断

市民の多様なライフスタイルに応じ、医学的な検査や体力測定、生活習慣のチェックをもとに一人ひとりにあった健康づくりをアドバイスし、また健康度の変化を確認する。

・健康度診断1日コース 40回（木曜・日曜）

（3）特定保健指導等（福岡市・国保対象）

23回

（4）健康づくり運動促進事業

身近な場所での運動習慣の定着を図るため、各区保健福祉センター（保健所）のヘルスアップスクールの受講者及び健康づくりセンターの健康度診断の受講者を対象として、運動処方を行う。

2．教育・研修事業

健康づくり指導者の知識及び技術の向上並びに関係各施設における指導の統一を図るため体系化した研修を行う。

ア．各区保健福祉センター（保健所）職員等研修

イ．地域リーダー（健康運動サポーター）フォロー研修及び交流会

3．普及・啓発事業

（1）普及・啓発事業

市民の健康づくりの動機づけや実践を促進するとともに、市民参加の健康づくりの普及啓発を行う。

なお、「健康日本21福岡市計画」については、その普及・啓発を図るため、イベントを開催する。

（2）「たばこ」対策の推進

禁煙・分煙・防煙対策など「たばこ」対策を総合的に推進するため、世界禁煙デーにあわせてパネル展示など禁煙普及イベントを開催する。

・世界禁煙デー関係普及イベント（6月開催：福岡市医師会、福岡市薬剤師会と共催予定）

（3）講座・教室等の開設

健康づくりの普及や正しい知識を市民が身につけることを目的とした栄養や運動、休養、歯科など多面的に健康づくりに関する講座、教室を開催する。

・糖尿病教室（1日糖尿病教室）	6講座（1講座1回）
・歯周病予防教室（妊婦歯科健診含む）	40回
・働くママとパパのマタニティスクール	10講座（1講座1回）
・禁煙教室（禁煙サポート含む）	6講座

（４）展示施設の運営

子どもから大人まで楽しく遊ぶことができる体験型展示施設「ウエルネス・ストーリー」の運営を通して、よりよい生活習慣を身につける健康教育事業を行う。

また、少年科学文化会館と連携し、「一日学習」の一環として小学3年生を対象に健康教育を行う。

（５）図書資料室の運営

広く市民への図書室の存在をPRするとともに、図書資料室の運営を通して、専門図書室としてのレファレンスサービスの充実を図りながら健康づくりに関する情報の提供及び収集を行う。

（６）PR活動の充実

市民をはじめ、企業・各種団体に対して健康づくり普及を図るため、パンフレット等印刷物の作成・配布やイベントの開催及びマスメディアを通じたPR活動を行う。

- ・ホームページによる情報提供の充実強化
- ・携帯サイトによる若者への健康づくり情報発信機能の充実
- ・「健康づくりセンターNEWS」「パンフレット」等の発行によるPR
- ・健康日本21福岡市計画の普及啓発強化

（７）健康づくりに関する相談

面接、電話等による健康づくり全般に関する相談 随時

４．健康づくりセンター等の管理・運営

福岡市健康づくりセンター等複合施設の維持管理を行う（健康づくりセンター以外の施設については、福岡市からの委託業務として実施する。）

- （１）建物の警備、清掃等
- （２）付属設備の保守管理及び運転
- （３）受付案内
- （４）ホール・講堂等管理業務

自主事業

1. 調査・研究事業

(1) 健康づくりに関する調査及び研究

市民の健康や健康づくりに関する調査や研究を行う。

ア．小児生活習慣病予防教室（あいれふ親子教室） 2 講座（1 講座 9 回）

イ．健康度診断受診者の縦断研究

ウ．メタボリックシンドロームを含めた各種生活習慣病撲滅プログラムの作成のための基礎研究

エ．健康レター通信（健康度診断 1 日コース受診者にレター通信）

オ．介護予防のための新しいプログラム（よかうた体操等）の作成・普及（新規）

(2) ニコニコペースの運動教室（健康運動教室） 1 2 講座（1 講座 1 3 回）

(3) 特定保健指導の実施とプログラム検証（福岡市職員共済組合等）
（厚生労働科学研究費補助金を活用した研究を含む）

2. 教育・研修事業

企業、地域指導者等の健康づくり指導者等を対象に研修を行う。

(1) 日本医師会認定産業医研修 4 回

(2) 老人クラブリーダー等研修 1 回

(3) 健康づくり指導者研修（健康運動指導士等） 2 回

3. 普及・啓発事業

受託事業（指定管理者）として実施する教室・講座とあわせ、自主事業として市民の健康づくりの動機づけや実践を促進するための教室等を開催する。

(1) 普及・啓発

マスメディアを通して健康づくりの普及を図る。

また、展示映像施設ウエルネスストリートのノウハウを活用した健康教育を推進していく。

(2) 健診等事業

生活習慣病予防のため、医学的な検査や体力測定など一人ひとりにあった健康づくりをアドバイスし、生活習慣改善に役立てる。

- ・運動強度測定コース 2 4 回（木・土曜）・臨時
- ・体脂肪・骨塩量測定外来 3 6 回（水・木・土曜）・臨時
- ・禁煙外来（保険診療・自由診療） 5 1 回（水曜）
- ・生活習慣病外来 5 1 回（水曜）

- (3) 講座・教室の開催
- ・ウォーキング実践教室 1 1 回
 - ・親子食育講座 2 講座
 - ・糖尿病食を学ぶ料理教室 2 講座
 - ・企業向け健康教室 3 講座
 - ・出前健康講座 2 0 講座
 - ・にこにこルーム 3 0 0 回 (水・金・土曜)
 - ・健康づくり運動初心者教室 6 講座 (1 講座 8 回)
 - ・乳児と親のための健康教室の開設 (新規) 3 講座
- (4) 特別企画展
- ・骨と関節の日講演会 (福岡臨床整形外科医会と共催) 1 回
 - ・ふくおか市民糖尿病教室 1 回
(福岡市医師会、福岡県栄養士会等と共催)
 - ・糖尿病パネル展 1 回
 - ・あいれふフォーラム「薬と健康」(福岡市薬剤師会と共催) 1 回
 - ・市民公開講座 (読売新聞西部本社、福岡市と共催) 2 回
- (5) 歩く市民づくりの推進
- ・ウォーキング大会「第 1 3 回シティウォーク in ふくおか」 1 0 月末開催予定
 - ・ウォーキング実践教室 (再掲)
 - ・ウォーキンググループへの情報提供 (新規)

収支予算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	2,334	2,380	46	投資有価証券利息等
事業収入	430,765	454,524	23,759	福岡市受託収入等
補助金収入	1,500	2,000	500	厚生労働科学研究費補助金等
負担金収入	160	160	0	産業医研修負担金
雑収入	76	76	0	受取利息等
事業活動収入計	434,835	459,140	24,305	
2. 事業活動支出				
事業費支出	351,747	263,455	88,292	調査・研究・教育・研修、普及・啓発、職員給与等
管理費支出	85,762	202,673	116,911	職員給与等
事業活動支出計	437,509	466,128	28,619	
事業活動収支差額	2,674	6,988	4,314	
投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	312	5,312	5,000	退職給付引当資産取得支出
固定資産取得支出	1,000	2,700	1,700	
投資活動支出計	1,312	8,012	6,700	
投資活動収支差額	1,312	8,012	6,700	
財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
予備費支出	800	800	0	
当期収支差額	4,786	15,800	11,014	
前期繰越収支差額	5,697	17,695	11,998	
次期繰越収支差額	911	1,895	984	